

平成20年度「あいかわ町民活動応援事業」の採用事業が決定しました。

6月28日（土）に開催された、第二次（公開）審査会の結果、下記の3事業が採用となりました。

各事業の活動内容等をお知らせいたします。

事業名	野外観察会	
補助金額	20,000円	
事業内容	町内全域の地形・地質・化石・鳥・魚・昆虫などの観察を通して郷土の自然について学ぶとともに、自然の成り立ちや動植物の息づかいを肌で感じ、自然が持つ美しさや不思議さを多くの町民に実感してもらうため、野外観察会を実施します。	
第二次審査会で出された主な質問	Q	A
	○小学校・中学校・高校との連携についてどのような取組みを考えていますか。	●まだ、発足したばかりの会ですので、まず、会の存在を広くPRしていきたい。現在も、いくつかの団体から参加依頼があります。
	○小中学校にも会報を配架し、PRすることは考えていますか。	●できれば、教育委員会のバックアップをいただき行いたい。
	○会員以外の方が参加した場合、会費は支払うのですか。	●会員以外の方からは会費はいただきません。
	○5月に開催した時の参加者は何人でしたか。また、年間スケジュールどおり実施できますか。	●5月は雨天のため中止でした。今後も、天候によって開催できない場合もあるが、原則スケジュールどおり実施していきます。

事業名	愛川東六倉ウォーキングロード周辺里山づくり	
補助金額	300,000円	
事業内容	<p>昨年、町民アイデアまちづくり事業でウォーキングロードを整備したが、周辺の山林は手入れがされていないため、ウォーキングロード周辺の樹木の名称標記や巣箱の取り付けなど自然観察ができる里山づくりを行います。</p>	
第二次審査会で出された主な質問	Q	A
	○地権者3名の方に承諾は得ていますか。	●1名は、国土交通省ですので書面を提出して承諾を得る予定です。他2名のうち、1名は、直接伺って承諾を得ており、もう1名については町の道路課にご協力をいただき承諾を得ています。
	○事業資金である、自己負担金はどのように捻出されるのですか。	●自己負担金は、自治会からの補助金です。
	○他の団体との連携についてどのように考えていますか。	●樹木の名称標記の指導をしていただくことなどを考えています。
	○なぜ、巣箱を取り付けようとしたのですか。	●ウォーキングロード周辺の樹木にキツツキが穴を開けており、また、多くの鳥が見受けられることから、子どもたちなどにバードウォッチングをして欲しいためです。

事業名	太鼓・チンドン屋指導	
補助金額	154,000円	
事業内容	半原地区の子どもたちを対象としていた清流太鼓の指導を町内全域に拡大し、また、昭和30年代頃に半原で行われていたチンドン屋を復活させることで地域の活性化・豊かな人づくりに寄与し、引続き、伝統文化を伝承していきます。	
第二次審査会で出された主な質問	Q	A
	○チンドン屋という発想はどこから出てきたのですか。	●昭和30年～40年代頃、地元の有志の方々が夏祭りなどに行っていたためです。
	○お祭り（お囃子）という太鼓と笛というイメージがあるが、笛の指導は行わないのですか。	●笛の指導は、現在も行っています。より一層お祭りなどを盛り上げるためにチンドン屋を企画しました。
	○教室参加費が2,000円となっていますが、小中学生も同じ金額ですか。	●小中学生からは半額の1,000円を負担していただくことを考えています。
	○当初の予定より参加者が多かった場合はどうするのですか。	●地区ごとに分けて指導していく予定です。